

2010年6月1日

四方原山 四方原ドーム登攀 山行報告

メンバー：篠原富和 的埜大介

東壁東面「昭和の忘れな岩」3ピッチ105メートル 初登



四方原山登山口にて、登攀装備をチェックし、7:00 出発。

熊よけに、時おり雄たけびを上げながら登っていく。篠原さんの植物レクチャーや昔のクライミング四方山話で楽しいひと時。

40分ほどで、岩場の下部に出る。

1P IV級 40m



岩場の下見などをして、8:30本日の目的のルート登攀開始。

篠原リード。スラブ状を左上する。やさしいが、支点をとれるところが少なく(小型カム数個)、岩松の草付きもいやらしい。

小型カムと手首ほどの太さの立ち木でビレイポイント。テラスあり。

2P IV級 45m



続けて篠原リード。階段風のもろい岩を確認しながら登る。マントリングの連続。

20mのランナウトもあり、口笛を吹きながらのリードに、「さすが篠原さん！」 後で聞いたが「緊張した」とのこと。そりゃそうでしょ！

ハーケン1枚を残値、他はやはり小型カム数個。太い安心感いっばいの松でビレイ。



的埜リード。やさしい階段状から岩稜に抜け終了、10:15。
踏み分け道をたどり、取り付きへともどる。

○四方原ドームには、まだまだ可能性を秘めた部分がたくさんありそうである。
地元山岳会として、このフィールドを遊びつくすのもありかなと思いました。岩のもろさから、快適なマルチピッチというわけにはいきませんが、アルパイン的冒険心で望むには、いい所だと思います。
以下、ここは面白いかもという写真です。



スラブ状岩壁は、いけそうな気がしますが…

壁がでかい！



100mオーバーの1枚岩！しかもうすかぶり！
アメリカンエイドでどうでしょう。
すごすぎます。